



Pyongyang



Taipei



Osaka

1985年開催のシンポジウム「東アジアの近代建築」（東京大学生産技術研究所 村松貞次郎先生退官記念事業会主催）を契機とし、東アジア地域の近代建築史研究は、少数の研究者による個別研究から、組織的・国際的研究にシフトしていった。それから 30 年、都市・地域間の建築関係史や、各建築の意味が多角的に明らかになる中で、近代建築に対するひとびとの理解や愛着も格段に深まった。本シンポジウムでは、東アジア近代建築研究の歩みを振り返りつつ、その現代的課題と可能性を議論する。



Shenyang



Seoul



Hongkong



Nagasaki



Macau



Tianjin

シンポジウム「近代建築史の最先端」第11回 東アジア近代建築史研究の回顧と展望 －『東アジアの近代建築』から30年

2015年 11月 29日（日）10:00 - 18:00

建築会館 301+302 会議室

主催：日本建築学会 建築歴史・意匠委員会 近代建築史小委員会
後援：京都大学地域研究統合情報センター、名古屋大学重要文化財馬場家住宅研究センター、金沢大学新学術創成研究機構
参加費：会員 1,500 円、会員外 2,000 円、学生 1,000 円（資料代含む、当日会場でお支払いください）
定員：50 名（申込先着順 建築学会 HP「催し物・公募」よりお申し込み下さい）

<https://www.aij.or.jp/index/?se=sho&id=1277>

東アジア近代建築史研究の回顧と展望 ー『東アジアの近代建築』から30年

日時：2015年11月29日（日）10:00-18:00

会場：建築会館 301+302 会議室（東京都港区芝 5-26-20）

主催：日本建築学会 建築歴史・意匠委員会 近代建築史小委員会

後援：京都大学地域研究統合情報センター、名古屋大学重要文化財馬場家住宅研究センター、金沢大学新学術創成研究機構

参加費：会員 1,500 円、会員外 2,000 円、学生 1,000 円（資料代含む、当日会場でお支払い下さい）

定員：50 名（申込先着順 建築学会 HP「催し物・公募」よりお申し込み下さい）

東アジア地域の近代建築史研究は、1980年代半ばまで、それぞれの国・地域において、少人数の研究者によって進められていた。しかも、その研究は、それぞれの国・地域で完結した建築史として扱われることが多く、国境を越えた比較研究や研究情報の交換などの国際交流は稀であった。

しかし、1985年開催のシンポジウム「東アジアの近代建築」（村松貞次郎先生退官記念事業会主催）を契機として、東アジア地域での近代建築史研究は、少人数の研究者による各国・地域での枠組の中での研究から、組織的な研究体制の確立と、国境を越えた研究者の相互訪問、交流により、国際的な共同研究が盛んとなった。

司会 ー西澤泰彦（名古屋大学／近代建築史小委員会前主査）
ー田所辰之助（日本大学／近代建築史小委員会幹事）

10:00-11:50 序ー東アジア近代建築研究の回顧

回顧 1：黄 俊銘（中原大学）
回顧 2：尹 仁石（成均館大学）
回顧 3：西澤泰彦（前掲）
回顧 4：山形政昭（大阪芸術大学）
回顧 5：包 慕萍（東京大学）

13:15-15:00 第1部ー東アジア近代建築史研究の現在

基調講演 1：藤森照信（東京大学名誉教授）

発表 01：谷川竜一（金沢大学）
発表 02：白 佐立（東京大学）
発表 03：砂本文彦（広島国際大学）
発表 04：水田 丞（広島大学）
発表 05：陳 雲蓮（ウルフソン・カレッジ／ケンブリッジ大学）

スライドショー：増田彰久作成「写真にみる東アジア近代建築」

15:40-17:15 第2部ー世界の中の東アジア近代建築史研究

基調講演 2：村松 伸（東京大学）

発表 06：角 哲（北海道大学）
発表 07：林 憲吾（総合地球環境学研究所）
発表 08：山田協太（京都大学）
発表 09：徐 東千（韓国国立中央博物館）
発表 10：鮎川 慧（京都大学）

17:15-18:00 意見交換

角哲、砂本文彦、谷川竜一、林憲吾、山田協太

18:00- まとめ

内田青蔵（神奈川大学／近代建築史小委員会元主査）

その顕著な例は、東京大学と中国・清華大学を中心とした日中共同作業による『中国近代建築史総覧』（全14冊）の刊行、さらに、韓国や台湾の研究者を加えて執筆された『全調査東アジア近代の都市と建築』（筑摩書房、1997）の刊行である。そして、2000年に準備会議を開き2001年に正式発足したmAAN (modern Asian Architecture Network) は、この間に確立された人的ネットワークを活かすかたちでつくられた近代建築史に関する情報交換組織である。また、シンポジウム「東アジアの近代建築」開催後、中国、韓国、台湾でも近代建築史をテーマとした研究集会が開催され、そこに他国の研究者が参加することが頻繁におこなわれるようになった。

シンポジウム「東アジアの近代建築」開催から30年を経た今日、研究の多様化と国際情勢の変化の中で、日本を含めた東アジア地域の近代建築史研究を、内外両方の視点、すなわち、東アジア地域内での近代建築史研究の比較やそれぞれの地域での近世建築・近代建築の比較、そして、他地域での近代建築史研究を進める研究からの批評をもらい、研究の方法や方向性を問い直す時期となった。本シンポジウムでは、このような複眼的視点を基に今後の研究の展望を参加者全員で考えるものとする。

申込方法：Web 申し込み <https://www.aij.or.jp/index/?se=sho&id=1277> よりお申し込みください

問合せ：日本建築学会事務局 事業グループ ーノ瀬 TEL03-3456-2051 E-mail: ichinose@aij.or.jp